



TOHOKU
UNIVERSITY

お祝いの言葉



東北大学 教育学部長

大学院教育学研究科長 八 楯 友 広

教育学部・大学院教育学研究科

卒業生、修了生の皆さん、ご卒業まことにおめでとうございます。皆様の希望あふれる門出に際し、東北大学教育学部・教育学研究科を代表いたしまして、謹んでお祝いを申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は、なお収束にいたらず、今年度も卒業の祝賀会を開催できませんでしたことは、まことに、残念でなりません。のみならず皆さんは、この二年間を異例きわまりないかたちで大学生活を送られました。おおきな制約のともなう学生生活であったことと思います。このような制約は、大学だけでなく、社会が全体として蒙ったものでもあります。そのなかにあつて、いかにレジリエンスを発揮できるかが問われることとなりました。皆さんにおかれましては、この稀有な体験を逆手に取り、人類の共通体験としてこれを活かし、新しい社会の構築にご貢献いただければと願っております。

教育学は、教育を通じた人間形成とそれによる社会の形成に資することを目的とした学問です。その意味で、教育学は、現在の社会的課題に貢献するだけでなく、未来の社会の形成者を育成することに貢献することを目指すものでもあります。人間の存在が、地球的規模での危機をもたらしている現在において、持続可能な未来社会をいかに構想するかは、きわめて重要な課題となっております。東北大学で教育学を学ばれた皆さんは、その学識と批判的な省察力とを大いに活かし、各自が歩まれるそれぞれの領域において、新しい社会の構築という、困難で、またやりがいのある事業に、勇躍して取り組んでいただければと願っております。

皆さんが東北大学教育学部・教育学研究科を卒業・修了された思い出として、まことにささやかではありますが、皆さんおひとりおひとりのお名前を記載したカレンダーを贈呈させていただく次第です。ご家庭で、あるいは職場でご使用いただき、時々東北大学教育学部・教育学研究科を思い出していただければ幸いです。

最後に、あらためてお祝いを申し上げます。
ご卒業、まことにおめでとうございます。

2022年3月25日